



なむさん



§ 今年の夏はスッごく暑かったですが、お盆が終わると一気に涼しくなりました。また、長雨の影響で水害などが発生しておりますが、皆さまお変わりありませんでしょうか？
なむさん、お彼岸号をお届けします。

一池上本門寺バスツアー

§ 別紙にご案内のように、10月12日に東京都大田区の大本山池上本門寺バスツアー参加を行います。午前中は、天龍寺の法縁頭のお寺、神楽坂善國寺にお参りします。通称「神楽坂の毘沙門さん」として江戸時代か

ら有名なお寺です。TVなどのメディアにもよく出ています。

§ そして、池上本門寺に向かい、日蓮聖人へのご報恩のお経をあげ大本堂でお開帳をうけます。その後、万灯行列を見ながら本場の雰囲気を楽しみましょう。

§ 朝・天龍寺を9:00に出発→夜21:30頃帰ってくる予定です。昼食・夕食弁当・交通費・お開帳費込みでお1人1万円です！先着25人ですので、早めにお申し込み下さい。バスなので楽々です。ぜひご参加下さい。

秋のお彼岸です

日時：9月23日（水） 13:00～
場所：天龍寺本堂



§ 秋のお彼岸供養会を9月23日（水）13:00～天龍寺の本堂で行います。お経をあげたあとにお塔婆をお渡しします。ご先祖さまの供養にご参加下さい。

§ 塔婆供養の申し込みを受け付けています。新規・変更のある方のみご連絡下さい。

§ 初彼岸の各家は、本堂左側に設けてあります。そちらの席でお経を聞き、ご供養をし、亡き方に心を込めてお焼香をお願いします。

日蓮聖人のご命日お会式

§ 10月10日に日蓮聖人の第734遠忌、お会式を開催します。昨年は岡村聖子先生を招いて健康体操を行いました。今年は地元群馬のデキシードジャズバンド、Dixie Queensがご機嫌なナンバーをおとどけします。ふるってご参加下さい。

§ 各地のジャズフェスや上信電鉄JAZZ&ビール列車でも活動する20年以上続いているバンドです。ひょんなところでサックスの小澤さんと

知り合い、天川町の盆踊りでも演奏しているとのこと。秋の夕方に、お祖師さまにご報恩のお経を上げ、本堂でジャズの響きに耳を傾けましょう。

月 日：10月10日（土）

時 間：14:30 受付

法 要：15:00～

演奏会：16:00～

デキシードジャズバンド
Dixie Queens

場 所：天龍寺本堂

参加費：2000 円

ー5月、神田祭に行ってきましたー

S 去る5月のゴールデンウィークに銀座三越日本橋本店に行ってきました。三越が江戸時代に奉納した諏訪神社の御神輿の修復が完了し、神田祭でお披露目渡御のため、同所にて展示されていました。そのセレモニーの司会を頼まれてのことです。

S 天龍寺の住職は、江戸時代に諏訪神社の別当職をしていました。今回の御神輿修理にあたり、御神輿内部のご神体の台座から「天明六丙午 七月吉日 法主福聚山 十七世 鎮座 日宥」という墨書が発見されました。天龍寺には、江戸時代の三越の番頭さんのお墓もあり、その関係が再確認されました。

S 5月3日、ちょっと汗ばむ快晴のゴールデンウィークの銀座。三越日本橋店本館前



のエントランスに展示されているきらびやかになった御神輿の前で藤岡中央高校和太鼓部の生徒約50人がイベントのオープニング演奏をしました。力強く若々しい響きが銀座の街に響き渡ると、たくさんの方が見入っていました。マユダーマンやぐんまちゃんも応援に駆けつけ、イベントも無事に終了。司会の役目も無事??こなしたので、ビールで乾杯しました。9日の神田祭では藤岡からも多くの担ぎ手や応援の方々が出向き交流したそうです。



書籍紹介

ー『永続敗戦論 戦後日本の核心』(太田出版)

白井 聡著ー

S 「私らは屈辱のなかに生きている」戦後70年、ポスト3.11の経験。2012年7月16日東京代々木公園で「さようなら原発10万人集会」での作家・大江健三郎の発言から本書は始まります。日本は敗戦の自覚なしに、ここまできてしまった。

S 本書は2013年初版だが、私も遅ればせながら2014年第15刷版を購入して読みました。日本思想史・政治学を専攻する白井氏は1977年生まれ(私より年下だ!)

S 『永続敗戦論』を軸に、日本政治や企業の現在の体質や対外関係、領土問題の本質を読み解いていきます。すべては、1945年8月15日から考え直していく。そして日蓮聖人ならば現代をどう考えるのか? さき大江健三郎の発言の日は日蓮聖人が『立正安国論』を北条時頼に進覧した日です。黙ってはいけない。が、考えて行動しましょう。

永続
敗戦論
戦後日本の核心
白井 聡

内田 樹
孫崎 亨
水野 和夫
大推薦!!

いまの政治をめぐる憲法・日米関係、日中・日韓・日露関係、かわる言説の本質的な敗戦性を、若い世代もちゃんと感じ取ってほしいと知って、はっとしました。

ー内田 樹